



ご挨拶

当院はこの度、令和4年7月、宇部西リハビリテーション病院として開院10年を迎えることが出来ました。これもひとえに関係者各位のご指導、ご支援、ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

当院は平成24年7月開院以降、病院機能向上を目指し、病院再編成を行って参りました。現在、病床250床(回復期リハビリテーション病床81床、地域包括ケア病床40床、医療療養病床129床)、介護医療院78床、計328床を有しており、回復期リハビリテーション、救急後・急性期後方支援、在宅復帰支援、在宅後方支援、がん患者支援(緩和医療)などの機能、また最近では新型コロナウイルス感染後方支援の機能を付加しております。回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟では365日毎日リハビリテーションを行える体制をとっております。また地域事業部門として、居宅介護支援、通所リハビリ、通所介護、訪問看護、訪問介護、訪問リハビリなどの介護支援事業の充実を図ると共に、地域包括支援センター、メディカルフィットネス、グループホーム、生活支援ハウスの運営にも努めています。

このように急性期医療と在宅との橋渡しの位置づけを念頭に置きながら、急性期以降、在宅医療、介護までを担う施設として地域の関連諸機関と連携を深め、包括的医療・介護体制の一翼を担っていく病院として機能していくことを使命と考えております。

今後も地域に根ざし、開かれた、誰からも信頼される病院として皆様のご期待に添えますよう職員一同努力してまいります。皆様には、今まで同様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

宇部西リハビリテーション病院
院長 梶原浩司

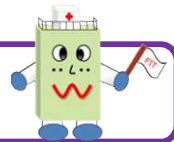
病院理念

地域に開かれた、信頼される心あたたかな病院を目指します。
安全で良質な医療を提供します。
地域へ貢献します。
研鑽と向上に努めます。

基本方針

1. 回復期機能、在宅支援機能、がん患者支援機能等を付加強化し、他の関係機関と連携して地域の包括的医療体制の一翼を担います。
2. 多職種がかかわるチーム力により個々に似合った適切なりハビリテーションを積極的に提供し、心身両面からの全人的医療を行います。

宇部西リハビリテーション病院のあゆみ



12月 医療法人和同会 常盤台病院を開院
 病院長に五十川和男が就任
 慢性期病院(老人病院)として6病
 棟345床、職員197人で開院

1992年



4月 病院長に上部和彦が就任

1993年

1994年



8月 回復期リハビリテーション病棟開設
 42床

2004年

2008年



5月 新病院竣工
 7月 病院を宇部市野中1丁目より宇部市
 大字沖ノ旦に新築移転し、医療法人
 和同会 宇部西リハビリテーション病
 院に病院名を変更
 病床数328床(介護療養病棟 2病棟
 78床、医療療養病棟 4病棟169床、
 回復期リハビリテーション病棟 2病
 棟81床) 職員数366人

2010年

2012年

2013年



8月 地域の病院・クリニックに当院の
 CT・MRIの利用開始

2014年

2015年

2016年

2018年

2020年

2022年

2月 宇部西クリニックを廃止し、
 クリニック事業(一般外来診療、居宅
 介護支援、通所リハビリ、通所介護、
 訪問介護、訪問看護、メディカルフィ
 ットネス、グループホーム、生活支援
 ハウス)を当院へ統合

4月 医療療養病棟1病棟40床を地域包
 括ケア病棟に転換

6月 水害を想定した垂直避難訓練を
 開始(以後毎年定例で実施)
 10月 診療・検査医療機関の指定を受け、
 その後新型コロナウイルス後方支援
 病院として活動開始

8月 リハビリテーション開始



9月 病院長に原田俊則が就任

8月 新病院の地域住民説明会を開催
 12月 新病院建築許可取得、工事開始

3月 遠隔画像診断システム導入
 4月 病院長に梶原浩司が就任



7月 宇部市指定緊急避難場所に指定
 12月 救急告示病院の認定



4月 敷地内全面禁煙を実施
 10月 介護医療病棟2病棟78床を介護医
 療院2療養棟78療養床に転換



7月 移転開院10周年



敷地内全面禁煙のお知らせ

2018年4月1日より、当院は皆様の健康を守り、健康増進法第25条の定めによる受動喫煙防止のため、病院敷地内全面禁煙(建物内・駐車場・車内も含む)にしています。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

宇部西リハビリテーション病院10年を振り返って

看護部長 長谷川京子



当院の10年は、大変感慨深いものがあります。常盤台病院から継続してきた取り組みに、新たに始めたことが相まって、この10年間で選ばれる病院へと進化してきたと思うからです。どの様なことを軸にして何に取り組んできたか、振り返ってみたいと思います。

まず、看護部の理念は「思いやりと個を尊重した看護・介護の提供」であり、常盤台病院から継続しています。病院の理念を受け患者さん・利用者さんを大事にし、個性を尊重すると共に、人間としての尊厳を重んじるという思いが込められています。看護部で取り組んできたことは、この理念を基軸にしたものです。他人を思いやり良好な人間関係を構築すること・倫理観の醸成をすることを軸に、教育体制の充実や人材確保等に取り組んで来ました。

良好な人間関係の構築では、アサーションの導入と遅れてアンガーマネジメントも取り入れ、毎年研修を行ってきました。最初は看護部だけの取り組みでしたが、全職種に広げてきました。全体評価は難しい所ですが、看護部の人間関係は大きく変化し、働きやすくなり離職の減少につながってきたと思います。

倫理観については、職業倫理の徹底・各職種の倫理綱領の浸透に力を入れ、主任会・チーフ会で毎年積極的に取り組んだことにより、常盤台時代とは異なり倫理観が醸成されてきたと感じています。

教育体制では、看護部の教育委員を中心に教育の充実を図ってきました。病院全体では教育研修委員長として、毎年の教育計画を立案し、院内(FITタウン)の施設や職種を越えて知識を共有し、質の高いケアが提供できることを目指し、全職種参加の研修報告会等を実施してきました。FITタウン全体の教育としては、管理者研修を毎年企画し管理職(リーダーも含む)の質の向上に注力してきました。管理職の役割である、組織の「生産性と充実感」を高めるため、管理者の教育は重要であり、研修によって少しずつ管理者の質は向上してきていると思います。

10年を振り返って、選ばれる病院になってきていることは、職員の皆さんの努力があったからです。宇部西リハビリテーション病院は、移転の際に職員全員の団結力で見事に事故なく完了したところから始まっています。当院は、水害想定避難訓練等一致団結して乗り越える素晴らしい組織だと思っています。これまでの10年をこれからは繋げ、地域に愛され、選ばれる病院であり続けて欲しいと願っています。



部署紹介(地域連携室)

地域連携室は、その名の通り、地域医療連携のために必要な業務を行う部署で、急性期病院、地域のクリニックや各施設等の関連機関と連携の強化を図りながら、適切な医療やリハビリを提供するための窓口です。また、退院や転院に際し、医療機関・介護施設をはじめ行政・福祉に関わる多くの方々をつなぐ役割を担っています。

現在、看護師2名・社会福祉士9名(各病棟担当制)で運営しています。看護師は主に前方支援として紹介元の病院や在宅からの入院受け入れの調整を担当しています。社会福祉士はそれぞれの機能を持った病棟で、患者さんの退院支援、入院生活上の不安、経済的・社会的な問題についての相談・対応を行っています。関連機関と連携をとり患者さんとご家族が安心して、医療・福祉を受けることができるようにサポートします。

入院に関する相談を随時受付けています。

0836-45-2111 宇部西リハビリテーション病院

(担当:地域連携室・野原)9:00~17:00 土・日・祝を除く



ご自宅



急性期病院



ご入居施設

地域連携室

患者さんのご病状やご家族のご希望をお伺いし、スムーズに入退院が出来るようサポートいたします

宇部西リハビリテーション病院



私達がサポートします!



永年勤続者表彰・EPA看護師候補者看護師国家試験に合格

祝 永年勤続者表彰 祝

山口県病院協会より3階南病棟の木村忍さんと施設管理課の水津紀代実さん2名の職員へ永年勤続者表彰が贈られました。令和4年6月14日に梶原院長より対象の2名の職員へ表彰状が授与されました。
永年当院で患者さんを支えていただきありがとうございました。



【梶原院長と木村忍さん】

祝 EPA看護師候補者で看護師国家試験に合格 祝

EPAで来日し当院に勤務しながら看護師国家資格にチャレンジしていたエルベニア・ジャネス(Elvena Janeth Daria)さんが、見事合格されました。これから看護師としての活躍を期待しています。



【エルベニア・ジャネスさん】



管理栄養士おすすめヘルシーメニュー

今回は当院の名物メニューの
院長そばをご紹介します。

秋祭りの
バザーでもお馴染み!



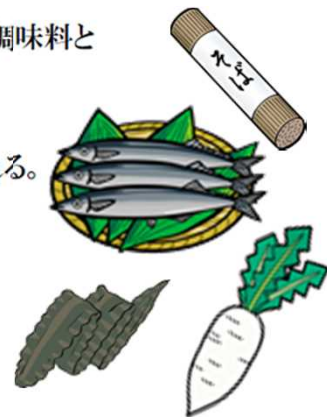
院長そば ~おいしくて脳に良い~

食品名	分量
そば(ゆで麺)	1玉
さんま缶詰	3切れ
大根	50g
かまぼこ	2枚
小葱	少々
とろろ昆布	少々
だし昆布	5cmぐらい1枚
煮干し	2尾
和風だし	少々
しょうゆすくち	小さじ1杯
しょうゆこいくち	小さじ1杯
みりん	小さじ1/3杯
水	300ml

★作り方

- 鍋に水、だし昆布、煮干しを入れて沸騰させる。沸騰したら、だし昆布、煮干しを取り出し、計量した調味料と和風だしを少々入れる。
- 大根はすりおろす、かまぼこは薄く切っておく。小葱は小口切りにしておく。
- そばはさっと湯通し、水気を切り丼ぶり茶わんに入れる。上にさんま缶詰、おろし大根、かまぼこをのせる。
- ①のだし汁を温めて、そばにかけて、最後に小葱、とろろ昆布をのせて出来上がり!

1人分エネルギー 340kcal たんぱく質20g
レシピは家庭で作りやすいようにアレンジしています。



♥院長そばの名前の由来は…

当院の院長が脳外科医で脳の活性化に効果があるとされる食材を使っています。

そば:ルチンというポリフェノールの一種が含まれ、血管の強化作用や血圧降下作用があり、脳血管障害の予防効果があります。

さんま:青魚であるさんまにはDHAやEPAなど脳の働きを活発にするとされる成分が含まれています。

大根:大根おろしにはジアスターゼという消化酵素が含まれ、消化を助け、腸の働きを整えてくれます。

とろろ昆布:昆布のねばり成分はフコダインという食物繊維の仲間。抗ガン作用やコレステロールの上昇抑制などの効果があります。



発行元：医療法人和同会 宇部西リハビリテーション病院 広報委員会
住所：〒759-0202 宇部市大字沖ノ旦797番地
電話：0836-45-2111
F A X：0836-45-2123

宇部西リ八

検索

リハビリ相談 随時受付中！

なんでも

今年入職したリハビリテーション部新人紹介！



すぎやま あや
氏名:杉山 采
職種:理学療法士

【ひと言】
4月から新しい一歩を踏み出せたことを嬉しく思っています。少しずつ新しい環境に慣れ頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



つじ よしひで
氏名:辻 嘉秀
職種:理学療法士

【ひと言】
これからよろしくお願ひします。



てんま たいち
氏名:天満 太一
職種:理学療法士

【ひと言】
ヲタクですがよろしくお願ひします。



あずま ゆうきよう
氏名:東 優京
職種:理学療法士

【ひと言】
皆さんを目標に頑張りますので、ご指導よろしくお願いいたします！



さくらい まさと
氏名:櫻井 将人
職種:作業療法士

【ひと言】
「明るさ」「誠実さ」を持って日々頑張ります。皆様宜しくお願い致します。



いいだ せいじ
氏名:飯田 成二
職種:言語聴覚士

【ひと言】
一つでも多くのことを学んでいきたいです。これからも宜しくお願いします。

在籍スタッフ数：PT52名、OT38名、ST22名(計112名)令和4年10月現在

最適なリハビリの形をご提案します。

まずは、お気軽にお問合せください。

- ・理学療法士(PT)とは、身体に障害がある人に対して起きる・立つ・歩くなど基本的な動作の改善を目指して訓練を行う専門職のことです。
- ・作業療法士(OT)とは、着替え・トイレ等の日常生活動作や家事動作の改善・獲得を目指して訓練を行う専門職のことです。また、運動や作業活動などを通して認知機能の維持・改善を目的とした訓練も行います。
- ・言語聴覚士(ST)とは、言葉に障害があり、上手く会話が出来ない人に対して言語療法を行ったり、飲み込むことが難しい人に対し、摂食・嚥下療法を行います。



宇部西リハビリテーション病院

0836-45-2111

(担当:リハビリテーション部・中村)

9:00~17:00 土・日・祝を除く

宇部西リハビリテーション病院 地域事業部

こんな介護サービスやっています！

〈訪問介護 ～ 宇部西ヘルパーステーション～〉



訪問介護とは、資格を持った訪問介護員（ヘルパー）が利用者の自宅を直接訪問して、「身体介護」や「生活支援」を行うサービスです。利用者が自立した在宅生活を送るために安全に安心した生活をサポートします。

訪問介護で受けられるサービス

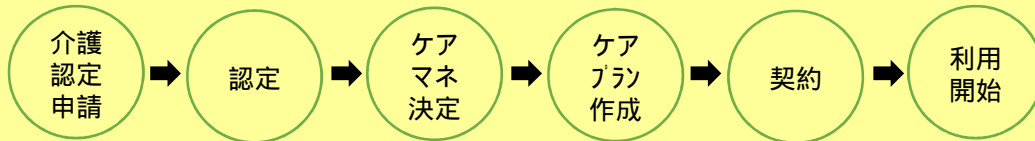
身体介護

- ・食事介助
- ・入浴介助
- ・排泄介助
- ・体位変換
- ・歩行介助
- ・移乗介助
- ・更衣介助
- ・清拭など

生活支援

- ・掃除
 - ・洗濯
 - ・調理
 - ・薬の受け取り
 - ・生活必需品の買い物など
- 原則、御本人使用のみとなります。

訪問介護サービスを受けるまでの流れ



宇部西ヘルパーステーションは御利用者様に信頼される寄り添った支援を心掛けています。コロナ禍で病院の面会が難しく、サービス利用により在宅で御家族と共に最期を迎えられる方も増えています。

お問い合わせ先：☎0836-45-1221



宇部西リハビリテーション病院 地域事業部

〒759-0207 山口県宇部市大字際波字東河田287番1 Tel:0836-45-1212(代表)

お問い合わせは、各サービスの相談員まで

宇部西在宅総合支援センター 45-1222
(居宅介護支援事業所)
通所リハビリテーション 45-1223
宇部西デイサービス 45-1223
宇部西デイサービス(認知症) 45-1227
ハローナース宇部西 45-1215

宇部西ヘルパーステーション 45-1221
宇部西グループホーム 45-2323
宇部西生活支援ハウス 45-4100
配食サービス 45-1212
宇部市西部第一高齢者総合相談センター 45-3969
トレーニングセンターFIT(メディカルフィットネス) 45-1219

同一敷地内関連施設 (有料老人ホーム)

○医療法人 和同会 際波あかり苑
〒759-0207 宇部市大字際波399-3 Tel:0836-45-2200

○社会福祉法人 博愛会 宇部西あかり苑
〒759-0207 宇部市大字際波399-2 Tel:0836-45-1200